第 29 号　2024 年 1 月吉日発行

JA香川厚生連　滝宮総合病院　広報誌

# たきのみや

NO. 29

当院は日本医療機能評価機構認定病院です

～Contents～


診療科紹介　泌尿器科紹介
治療紹介　歯科　顎関節症
放射線科　レントゲン撮影の時の「息を吸って」は何のため？
検査部　採血管のおはなし


■ 病院理念

私たちは地域の中核病院として安全・安心な医療を提供し、皆様から信頼され支持される病院をめざします

## 泌尿器科紹介

病院長補佐　常森　寛行

泌尿器科は副腎、尿路（腎・尿管・膀胱・尿道）、男性生殖器（前立腺・精巣・精巣上体）を扱う科です。種々の検査から薬物治療・手術まで内科的側面と外科的側面を併せ持っています。超高齢化社会の到来とともに、一生涯のうち 70%以上の方が、何らかの形で泌尿器科専門医の診療を受けると言われています。当科では、病気を治療することは当然として、患者さんの QOL にも配慮しながら診療を行うように心がけております。

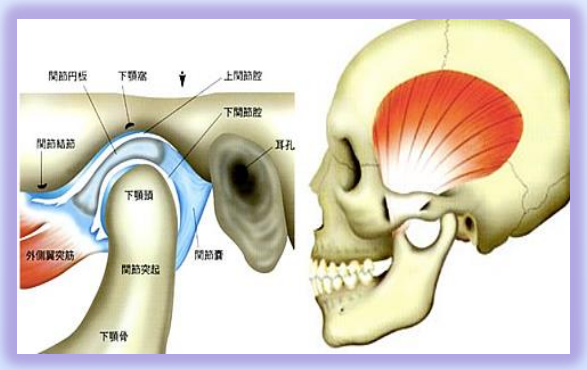
おしっこが出にくい（排尿障害）、トイレが近い（頻尿）、おしっこに血が混じる（血尿）等の泌尿器科疾患を疑う症状がございましたら、まずは外来診療へお越しください。また、近年では前立腺がんが増えております。PSA 検査（前立腺がんを確認する血液検査）を適宜行い早期発見し、治療が必要な方に関しては適切な治療をお勧めしています。

専門的な診療としては、四国で初めてとなる男性重度尿失禁外来の開設をしております。また昨年から保険適応となった経尿道的水蒸気治療やレーザーによる結石破砕術といった最新の治療の提供も開始しております。

我々泌尿器科では患者様に寄り添う優しい医療をモットーに日々診療を行っております。なにかお困りの際には、気軽にご相談ください。

# 顎関節症について

歯科部長
石田　優




このような症状はありませんか？

**大きな口が開けられない**、顎を動かすと

**カクカクと音がする**、**顎の関節が痛い**。

このような症状がある場合、顎関節症を疑います。

顎関節症の診断は、顎の周りに付着する筋肉の痛みや口の開けにくさ、関節音の一つがあり、他の病気を否定した時に顎関節症と診断します。顎関節症は低年齢の方から高年齢まで幅広い年齢層の方に発症していますが、主に 20 歳代から 40 歳代の女性に後発し男性の 3 倍の発症頻度があります。

顎関節症には 3 大症状があります。

① 開口障害

日本人の開口量は前歯部で 4.5 ㎝以上とされ、4 ㎝開口できないと開口障害となります。ご自身の指を 3 本縦にして入らなければ開口障害の可能性があります。

② 顎関節・咀嚼筋の痛み

咬合時や開口時に、顎の関節や頬や側頭部に痛みが生じます。

③ 関節の雑音

顎の開口・閉口時にカクカクやシャリシャリなど音がします。

顎関節症の治療

関節の病気は複雑に様々な要因が絡まっていますので、症状が重い方は治療は難しくなります。しかし、顎関節症の約 70%は初期治療で改善しますので、症状が軽いうちに気軽に相談して頂ければと思います。

# 採血管のおはなし

臨床検査技師　香西　宣秀

みなさんは採血時に、長さやふたの色が違う何本もの採血管を出され、

「え、こんなに採るの？」

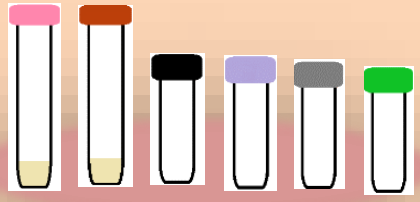
「小さい容器に何本も採らないで、大きな容器でまとめて採ったら良いのに？」

などの疑問を感じたことはありませんか？今回は採血時に使用する**採血管**についてのおはなしです。

**採血管**とは、血液検査で使われる血液を入れる容器のことです。検査の目的によって使用する種類と本数が異なります。当院で使用している採血管は 20 種類前後あり、長さや太さ、蓋の形状や色などが異なり、それぞれ中に入っている薬品が違います。

主に蓋の色で種類を判別して使い分けています。

採血管は抗凝固剤という血を固まらせない薬品入りと入っていないものとで大きく 2 種類に分けることができます。これは検査の内容によって血液の状態を分ける必要があるためです。例えば、腎臓や肝臓の検査では血液中の液体成分を使用するので、固まらせて遠心分離した血清を使用します。反対に、赤血球や白血球数などの血液の細胞の数を検査する場合は、固まらせると検査できないため、抗凝固剤入りを使用するなど使い分けが必要になります。また、抗凝固剤入りの採血管にも複数の種類があり、例えば血糖検査では血液中の血糖値を安定にするため解糖阻止剤が入っている専用の採血管を使用します。



当院で使用している主な採血管

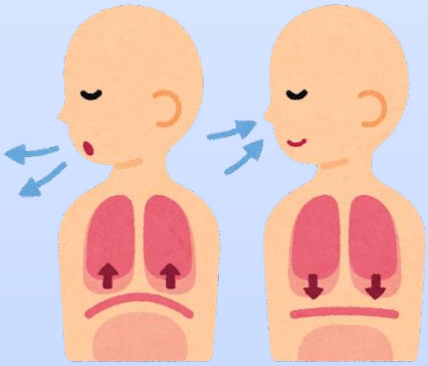
- 生化学（茶色・**ピンク**）：血清を使って、肝機能や腎機能、脂質、電解質などの検査を行います。
- 凝固（**黒色**）：血漿を使って、PT・APTT などの止血機能の検査を行います。
- 血算（**紫色**）：血液全体を使って、赤血球や白血球、血小板などの数や形態の検査を行います。
- 血糖（**灰色**）：血漿を使って、血糖値などの検査を行います。
- その他（**青色**、**緑色**、**赤色**など）：そのほかの特殊な検査が必要な場合に使われます。

以上のように、**採血管**の種類と役割は多岐にわたります。それぞれの検査に適した採血管を使用することで、正確な検査結果を得ることが可能となりますので、どうしても複数の採血管が必要になります。また、一般的な検査目的で使用する採血管 2 ～ 5 本程度の場合に採取する血液の量は、合わせて 20 ㎖以下（大さじ一杯程度）の量ですが、当院の検査部では血液検査をシステム管理し、さらに出来るだけ効率の良い採血量で検査が出来るように工夫しています。

# レントゲン撮影の時の「息を吸って」は何のため？

診療放射線技師　大森　義則

みなさん、**レントゲン撮影**を行ったことはありますか？撮影する場所にもよりますが呼吸の指示をされることがありませんか？何のために「息を吸って、止めてください」「息を吸って吐いて、止めてください」「そのまま息を止めてください」技師によって言い方は違いますが撮影する部位（場所）によって呼吸の指示は基本同じです。



① 「息を吸って止める」
大抵の場合、胸部写真（肺）を撮影

② 「息を吸って吐いて止める」
大抵の場合、腹部写真を撮影

なぜ息を吸った状態で撮影するか、息を吐いた状態で撮影するか、それは撮影したい場所を大きく広く撮影したいからです。息を吸うと肺に空気が入り大きくなります。逆に息を吐くと空気が出てしまい肺が小さくなります。正確には息を吸うと横隔膜が下がり肺が広がり、息を吐くと横隔膜が上がりお腹が縦に広くなるからです。息を止めるのはブレないで撮影する為です。スナップ写真撮影時に動かないのと同じです。

レントゲン写真は目には見えないところを写真にしています。撮影した写真を観てブレていないか確認しています。もちろん呼吸に関係のない部位（場所）もありますし、目的によっては呼吸の仕方が変わることもあります。また、呼吸が止まっているのにブレることがあります。それは体が動いた時です。呼吸を止めたら体は動かさないようにお願いします。

香川県厚生農業協同組合連合会
**滝宮総合病院**

〒761-2393　香川県綾歌郡綾川町滝宮 486 番地
Tel　087-876-1145(代)　Fax087-876-1302
ホームページアドレス　www.takinomiya-hp.com

JA 香川厚生連　滝宮総合病院　広報誌　たきのみや　発行責任者：企画広報室・患者サービス向上委員会